

群馬県農業技術センターのあゆみ

- 明治28年（1895） 前橋市岩神町に農事試験場を創立
- 34年（1901） 前橋市南町（旧 前代田町）に移転
- 昭和21年（1946） 群馬郡金島村（現渋川市）にこんにやく指定試験地を新設（現こんにやく特産研究センター）
- 25年（1950） 農事試験場を農業試験場と改称
- 30年（1955） 本場を前橋市江木町（前橋研究拠点）に移転
- 31年（1956） 館林市当郷町に邑楽水稻試験地を新設（現東部地域研究センター）
- 35年（1960） 沼田市横塚町に沼田果樹試験地を新設（現中山間地園芸研究センター）
- 45年（1970） 園芸部門を分離し、佐波郡東村（現伊勢崎市）に園芸試験場を新設
- 55年（1980） 嬬恋村に園芸試験場高冷地試験地を新設（現高冷地野菜研究センター）
- 58年（1983） 組織改正により、農業試験場、園芸試験場、蚕業試験場、水産試験場、畜産試験場を農業総合試験場に統合
- 61年（1986） 農産加工指導センターを新設
- 平成 6年（1994） 農業総合試験場を廃止し、農業試験場、園芸試験場、蚕業試験場、水産試験場、畜産試験場に改組
- 15年（2003） 組織改正により農業試験場、園芸試験場、病虫害防除所、農産加工指導センターを農業技術センターに統合。農業試験場を前橋研究拠点、中山間支場を中山間地園芸研究センター、東部支場を東部地域研究センター、高冷地分場を高冷地野菜研究センター、こんにやく分場をこんにやく特産研究センターに改称
- 24年（2012） 組織改正により作物部を稲麦研究センターに改組
本所本館の新設により前橋研究拠点機能を移転

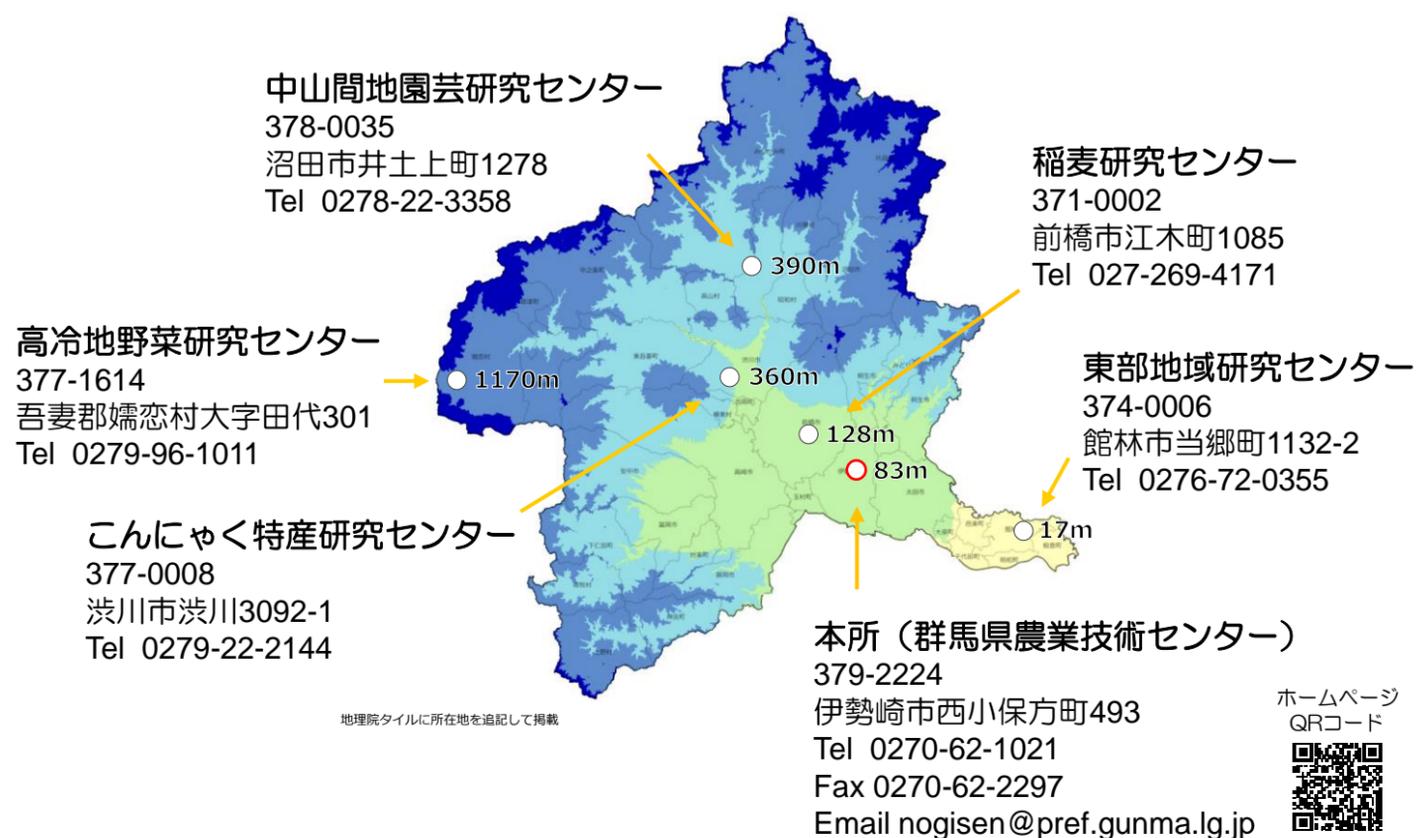


群馬県伊勢崎市 本所（本館）

群馬県農業技術センター

農業技術センターは、地域に根ざした農業生産に寄与する技術開発の拠点として、次の5つの重点目標に基づいた試験研究に取り組むとともに、普及組織や生産現場と連携して、研究成果の普及と技術支援に努めています。

- ①特色ある農産物づくりを支援する技術の開発【特色アップ】
- ②収益性を高める農業生産技術の開発【収益アップ】
- ③省力低コスト農業生産技術の開発【ゆとりアップ】
- ④環境と調和した農業生産技術の開発【やさしさアップ】
- ⑤気候変動に対応した農業生産技術の開発【適応力アップ】



企画・プロジェクト研究部

■ 総務係

センターの庁舎管理、歳入歳出管理、契約事務など、研究員が研究に専念できる環境を整えています。



センター公開

■ プロジェクト研究推進係

センター全体の試験研究の調整・進行管理、研究成果の普及・広報、大学・企業との連携促進等の業務を行っています。



研究員研修

■ 分析・加工係

農産物の成分分析及び加工技術の開発や品質調査・加工適性に関する調査研究を行っています。



特産農産物の加工試験

また、農産物の放射性物質検査および豚熱対策等に係るイノシシの検査を行っています。



放射性物質検査



会議棟

本館

環境棟

園芸棟

土壌・病害虫部

■ 土壌保全係

農作物栽培の基本となる農耕地土壌の調査、合理的な施肥や有機物資材の利用法等、農作物を安定的に生産するための研究を行っています。



土壌調査

■ 病害虫係

農作物の病害虫に対する環境に配慮した防除技術の開発と体系化、原因不明症の原因解明とその対策について研究しています。



ナシでの天敵調査

■ 発生予察係

農作物の病害虫の調査データや、気象の予報などをもとに、病害虫の発生予報を毎月発表しています。また、特定の病害虫の発生が多くなると予想される場合、病害虫情報、注意報などにより、注意を呼びかけます。

その他、群馬県に侵入していない病害虫の侵入警戒調査を行い、侵入が確認された場合、情報の発信及び、必要な調査を行います。



網を使った水田害虫調査



ナスの病害虫発生調査

園芸部

■ 育種係

イチゴなどの野菜について、消費者ニーズや産地の栽培条件に合った新品種の育成、およびバイオテクノロジーを活用した園芸作物の品種育成を行っています。



イチゴの新品種育成試験

■ 野菜係

主に平坦地の野菜を中心に、環境に配慮した栽培技術の研究、環境制御による施設野菜（キュウリ、イチゴ等）の安定生産技術の開発など、総合的な野菜栽培研究に取り組んでいます。



ナス（単為結果性品種）の長期どり試験



キュウリ高度環境制御による栽培法の確立

■ 果樹係

ウメ・ナシ・ブドウの新品種育成の他、ナシ・モモ・スモモの新梢管理や整枝せん定法など、省力・高品質安定生産技術の研究開発に取り組んでいます。



スモモのジョイント仕立て樹

■ 花き係

花き類の新品種育成、産地間競争に対応した省力・低コスト・高品質生産技術、気象変動に対応した栽培技術の開発などの研究に取り組んでいます。



鉢物アジサイの高品質栽培研究

地域研究センター

■ 稲麦研究センター

主要農作物（水稲、麦類、大豆）奨励品種の原原種・原種生産、二毛作に適した水稲・麦類の品種選定試験に取り組んでいます。



品種選定試験の生育調査

■ 中山間地園芸研究センター

中山間地域の気象条件等にあった寒冷地果樹（リンゴ・ブルーベリー等）や地域特産野菜（トマト等）の新品種育成と安定生産技術の研究を行っています。



リンゴ新品種「紅鶴」

■ 東部地域研究センター

本県の東毛水田地帯に適応する水稲の品種選定や栽培技術に関する研究と環境制御施設等でキュウリ、ズッキーニの栽培研究を行っています。



環境制御ハウスでのキュウリ試験

水稲品種選定試験

■ 高冷地野菜研究センター

キャベツ、ハクサイ、ベニバナインゲンなどの高冷地に適する野菜の栽培技術、病害虫防除法、化学肥料削減法、温暖化対策の研究を行っています。



微粒剤及び粉剤が均一に散布できる新型ロータリーソー

■ こんにゃく特産研究センター

本県の特産作物であるコンニャクの新品種育成と栽培安定化試験を中心に、タラノキの新品種育成にも取り組んでいます。



コンニャク品種「みやままさり」